

旅行取扱状況の概観（令和2年7月分）

下記、月次取扱額は、近畿日本ツーリスト北海道、近畿日本ツーリスト東北、近畿日本ツーリスト関東、近畿日本ツーリスト首都圏、近畿日本ツーリスト中部、近畿日本ツーリスト関西、近畿日本ツーリスト中国四国、近畿日本ツーリスト九州、近畿日本ツーリストコーポレートビジネス、KNT-CT グローバルトラベル、KNT-CT ウェブトラベル、クラブツーリズム、ユナイテッドツアーズ、KNT 商事の合算額となります。

記

海外旅行の取り扱い、一般団体は前年比0.2%、学生団体は同19.3%と前年を下回り、団体旅行合計で同5.9%と前年を下回った。企画旅行については前年比0.0%とほぼ実績がなく、個人旅行については同2.3%と前年を下回った。

この結果、海外旅行総取扱額としては、前年比1.8%と前年を下回った。

国内旅行の取り扱い、一般団体は前年比8.3%、学生団体は同2.4%と前年を下回り、団体旅行合計で同5.6%と前年を下回った。企画旅行については前年比7.0%と前年を下回り、個人旅行については同16.3%と前年を下回った。

この結果、国内旅行総取扱額としては、前年比8.5%と前年を下回った。

外国人旅行は、マイナス実績計上となった。

以上の結果、ホールディングス主要会社の7月の総取扱額は前年比6.4%となり、GO TO トラベルキャンペーンが開始されたものの依然として旅行需要は戻らず厳しい状態が続いている。

【区分別の状況】

1. 海外旅行

海外団体については、一般団体、学生団体ともに、国際的な新型コロナウイルス感染者拡大による旅行の中止や延期の影響を受け、前年比において一般団体は0.2%、学生団体は19.3%と前年を下回った。この結果、海外団体旅行合計で前年比5.9%と前年を下回った。

海外企画旅行については、前年比0.0%とほぼ実績がなく、商品別では、ホリデイ、クラブツーリズムともに、同イベントリスクの国際的な感染者拡大による感染危険レベル3（渡航中止勧告）やレベル2（不要不急の渡航の自粛）の状態や航空路線の運休・減便が続いており、販売を大きく減少させている。

以上の結果、海外旅行の総取扱額としては、前年比1.8%と前年を下回った。

2. 外国人旅行

外国人旅行は、国際的な新型コロナウイルス感染者拡大による外国人の入国制限措置などの影響を受け、売上計上がほぼ無い中でレイルパスなどの払戻しの結果マイナス計上となった。

3. 国内旅行

国内団体については、一般団体、学生団体ともに、新型コロナウイルスの感染拡大抑制のための都道府県を超えた移動制限が解除されているものの前年比において一般団体は8.3%、学生団体は2.4%と前年を下回った。この結果、国内団体旅行合計で前年比5.6%と前年を下回った。

国内企画旅行については、前年比7.0%と前年を下回った。商品別では、メイト、クラブツーリズムともに、GO TO トラベルキャンペーンが開始されたものの、開始直後に「東京都を目的地とする旅行」、及び「東京都に居住する方の旅行」が当面、Go To トラベル事業の対象外とする決定がなされるなどの影響も受け、販売の回復とはなっていない。

以上の結果、国内旅行の総取扱額としては、前年比8.5%と前年を下回った。